



おかげさまで100周年

報道関係各位

当資料は9/3(月)大阪機械記者クラブ・自動車産業記者クラブにて資料配布をさせて頂いております。

2007年9月3日

増加する浄化槽清掃に対応

モリタエコノス「新型浄化槽水リサイクル車」を開発

～作業効率の向上と車両のコンパクト化を実現～

株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博)の子会社である株式会社モリタエコノス(本社:大阪、代表取締役社長:川瀬武男)は、新型浄化槽水リサイクル車を開発。本年9月3日より浄化槽清掃業者などへの販売を開始致します。

近年、下水処理施設の未整備地域における浄化槽設置基数増加に伴い、浄化槽汚泥の発生量が増加の傾向にあり、全国の各自治体ではこの処理方法が懸案事項となっております。

浄化槽水リサイクル車は、浄化槽内の清掃時に生じる汚泥を濃縮し減量化。処理施設への運搬を効率的に行なう事ができます。また清掃過程で生じた分離水をそのまま浄化槽に戻し張り水として再使用する事が可能です。

新型浄化槽水リサイクル車は、小型系4t車に架装する事で全長を約800mm短縮。清掃現場での作業性を重視し、必要な操作機器を集中配置した操作パネルを採用しました。これらにより浄化槽清掃の作業時間が当社従来機より最大約10%削減できました。

当社では、2008年9月までに100台(売上金額 約20億円)の受注を見込んでおります。新型浄化槽水リサイクル車に関する概要は下記のとおりです。

◇新型浄化槽水リサイクル車の特長

- ・従来の4t車架装と比較して全長を最大約800mm短縮
- ・反応槽容量、汚泥槽容量共、従来機より100L増量
- ・作業時間を最大10%短縮(自社 従来機比)
- ・集中操作パネルによる作業性の向上を実現

◇新型浄化槽水リサイクル車の主要車両諸元

- ・標準車両価格:約1,850万円
- ・シャシ:小型系4t車
- ・型式:SNB13M2-BK
- ・車両サイズ:全長約5,400mm×全幅約2,100mm×全高約2,500mm
- ・最大積載量:1,600kg(汚泥タンク1,300kg+凝集液・清水タンク300kg)
- ・汚泥タンク許容量:1,300L
- ・反応槽容量:2,100L
- ・車両総重量:約6,500kg
- ・乗車定員:3名
- ・販売目標:100台/年

この件に関するお問い合わせ先
株式会社モリタ 広報室 担当:浦野・東尾
電話:03-5777-5088